

# 没入型VRを用いたROM改善

Team VR

北浦銀次

吉田圭杜

田中将弘

真鍋圭輔

淡路千夏

畑和江

丸山日菜吏

# 目的

疼痛閾値を意識させない  
状態でのROM改善を図る

# 対象者

疼痛を有しROM制限がある高齢者  
(疾患問わず)

# 方法

- ①対象者に課題を課すVRを映す
- ②VRの中で様々な課題を与えて自動運動を行ってもらう



課題に没入させることで意欲的・自主的にROM運動を行う

# 除外対象者

映像酔いする患者

急性期患者

認知機能低下が  
著しい患者

拘縮の改善見込  
みが低い患者



(イメージ)

費用

10万前後

(本体価格込み)



※許可済み